

# 美郷町長選挙および 美郷町議会議員補欠選挙

## 美郷町長選挙 松田 知己氏 無投票再選

任期満了に伴う美郷町長選挙が十一月四日に告示され、この日、立候補の届出をしたのは現職の松田知己氏ひとり、他に立候補者がなかったことから、十一月九日に行われた選挙会で松田氏の再選が決定しました。なお、任期は、平成二十四年十一月二十七日までの四年間です。



▲11月10日、再選後、初登庁する松田町長。

### 町長就任のごあいさつ

美郷町長 松田 知己

世界で初めて人工雪をつくった北大の中谷宇吉郎博士。雪を「天からの手紙」と表現していたとのこと。現実には厳しい北国の冬、こうした比喩で少しは厳しさが和らぐように思いますが、皆さんはいかが感じるでしょうか。

さてこの度、無投票という形でご信任をいただき、町長という重責を再び担わせていただくことになりました。刻々と変化する行政環境に全身全霊をもって対処し、町づくりに向けて職責を果たすようがんばります。引き続きのご指導ご鞭撻お願い申し上げます。

その美郷町、誕生から四年が経過しました。これまで私は「融和と前進」というキーワードのもと、融和を大切にしながら、心掛け、制度調整など合併に伴う課題解決に努めながら、緩やかな変化の中で皆さんが「美郷町」に馴染むように配慮してきました。すべては慣らし期間をうまく乗り越え、長く愛される美郷町になってもらいたいためです。一方で前進の部分では、各地域が背負ってきた継続事業を仕上げながら、次のステップで発展の芽が出るよう

に、交流や水環境などの分野で種蒔きもしてきました。

こうした経過を踏まえた今後の取り組みは、いよいよ町づくりの核心への精力傾注です。そのポイントは大まか二つです。一つは融和を大切にするために積み残してきた課題解決への取り組みです。具体的には、学校を含む公共施設の再編統合などです。もう一つは、美郷意識を踏まえた町勢発展への取り組みです。具体的には町内外の交流促進と水資源を活用した町の顔づくりなどです。内をきちんと固めて安定感を得ながら、外に向かって存在感を発揮できる町にしてまいりたいと考えております。人と同様、町には町のカラーがあります。美郷がすてきなカラーを身に付けられるようがんばってまいります。

いずれにいたしましても、これからの四年間は変化の四年間となります。美郷の第二ステージです。将来に安定感と存在感を発揮できる美郷町になるため、皆様には各般にわたりご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

※12月のふれあい談話室については、27ページ「町のカレンダー」をご覧ください。

### 美郷町議会議員補欠選挙開票結果 (得票順、敬称略)

	氏名	住所	得票数
当選	深澤 均	羽貫谷地	4,201
次点	高橋福松	土崎南部	2,660

- 当日有権者数 18,941人 (男8,834人、女10,107人)
- 投票者数 6,996人 (男3,316人、女3,680人)
- 投票率 36.93% (男37.53%、女36.41%)
- 有効投票 6,861票 ●無効投票 134票
- 不受理 0票 ●持ち帰り 1票
- 投票総数 6,995票



深澤 均氏  
(羽貫谷地)

町長選挙と同日に告示された美郷町議会議員補欠選挙では、選挙すべき議員の数一人に対し、二人からの立候補の届出があったことから、十一月九日に町内二十一カ所の投票所で投票が行われ、即日開票されました。結果は次のとおりです。

なお、任期は、平成二十一年九月三十日までです。

## 美郷町議会議員補欠選挙 新議員に 深澤 均氏 初当選



▲出席者全員による町民歌斉唱

町誕生4年を振り返り、次なる歩みへ

# 町の日記念式典



◀記念講演で講師を務める煙山力さん

美郷町が誕生した十一月一日の「町の日」を記念して十月二十五日、仙南公民館を会場に「町の日記念式典」が開催されました。

式典には、町民の皆さん約四百人が出席。出席者全員による町民歌斉唱のあと、松田町長が「町が望む美郷の姿になるために、足元を見詰めながらも、常に前を向いてしっかりと歩みを進めていきたい。今後の町のさまざまな歩き方、またその歩く過程における困難を乗り越え、振り返った時に、やはり良い歩みであったと言えるよう、今後とも頑張ることをお誓いする。」と式辞を述べました。

また、町政の発展に寄与された方などを表彰し、その功労・功績を広く町民の皆さんに紹介することを目的とした町功労者・功績者表彰が行われ、前美郷町農業委員会会長の蒔野賢之輔さん、元美郷町民生委員児童委員の山藤裕弘さんが町功労者として、車椅子バスケットボールにおいて、北京パラリンピック日本代表主将を務めるなど、ご活躍されている藤井新悟さんが町功績者として表彰されました。これを受け、受章者を代表して蒔野賢之輔さんが「良き同僚、良き仲間に生まれ、たくさんの支援があったからと心から感謝している。」と謝辞を述べられました。

式典後には、美郷町千屋出身で前東京都文京区長である煙山力さんをお迎えして「ピンチがチャンス」苦境の時

## 美郷町功労者・功績者表彰



蒔野賢之輔さん  
(茨 島)

平成5年から農業委員会委員として、5期15年にわたり、うち5年3ヶ月会長職を務められ、地域農業の発展に寄与されました。



山藤 裕弘さん  
(中通り)

昭和61年から民生委員児童委員として、21年の長きにわたり、地域社会の相談者として社会福祉の増進に寄与されました。



藤井 新悟さん  
(仙台市、千屋南部出身)

北京パラリンピック車椅子バスケットボール男子日本代表チームの主将を務めるなど、顕著な成績をおさめられました。(写真は代理出席された父・富夫さん)

こそ新たな展開の好機」と題し、記念講演が行われました。  
煙山さんは、文京区長時代に行った施策をいくつか挙げ、産業が低迷していた平成十一年当時に中小企業に向けて金利ゼロ%の融資制度を一年間だけ実施したことに触れ、「苦しい時こ

そ、ピンチの時こそ、的確な対応をすることが重要。」と話されました。また、少年時代のユニークなエピソードや文京区について、その歴史を掘り下げて紹介されるなど、豊富な内容に会場の皆さんは引き込まれるように聞き入っていました。